

令和7年度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



YURIKAGO 通信

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 《11月号》

R7.10.24 東京ゆりがご幼稚園



力を合わせて ～運動会～

運動会 ～体を動かすことの楽しさや充実感を味わう～

運動会はお天気にも恵まれ、気持ちの良いコンディションの中で開催することができました。保護者の皆様には様々なご協力をいただきありがとうございました。今年度も「体を動かすことの楽しさや充実感を味わう」ことをテーマに取り組んできましたが、子ども達の満面の笑みがそれを表していたように感じます。

園長が大学院時代にご指導いただいた学芸大学の杉原名誉教授の研究では、「運動ができる・できない、上手・下手、勝ち・負け」という「成績思考」の集団よりも、「遊び思考」の集団の方が高い有能感や満足感が得られ、運動が好きになるというデータがあります。特に幼児期はこの「成績思考」にこだわりすぎると運動が嫌いになり、体を動かす機会も減り、運動能力も低下していくという一方で、「遊び思考」で有能感を味わった子どもは運動が好きになり、体を動かす機会が増え、運動能力が向上していくとされています。そして、この環境による違いは、その後の運動能力にも影響を与えていると言われています。

運動会でも、かけっこやリレーなどの勝ち負けはありますが、本番に向かうプロセス（練習など）において、勝ったり負けたりを通して「嬉しい、悔しい」などの様々な感情を経験し、何よりも体を動かすこと、友達と力を合わせることの楽しさを感じることが大切であると考えています。保護者の皆様にもどうぞそうした眼差しで、お子様を見守っていただければ幸いです。

秋が深まりを見せ、生活や活動がさらに充実してまいります。遠足、いもほり会、焼きいも会、年長おにぎりパーティー、保育参観など、様々な活動に対し子ども達が主体的に、喜んで関わるできるよう見守ってまいります。引き続き保護者の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



運動能力測定(スポーツテスト)

例年11月に年中・長を対象に行っている運動能力測定は、幼児期に身につけて欲しい多様な運動能力（基礎的運動パターン）を、文部科学省が規定する種目を中心に測定しています。特に幼稚園の年長では著しい成長が見られますが、こうした成長の姿をより客観的に評価できるよう、前述の杉原教授監修による信頼性の高い評価システムを取り入れています。測定種目は文科省が規定する6種目で、運動遊びの時間に測定し、全国の加盟園データと比較して相対評価を行います。結果がでましたらお子様の成長の姿をお知らせいたします。

七国小「まちたんけん」

本園の連携校でもある七国小学校2年生、3年生が地域を知る授業で来園しました。保育を見学しながら園児と交流をしたり、園庭の様々な場所を探検したりムササビを観察したりと、短時間ながら園児も小学生も互いに学び合う良い機会となりました。年長さんも小学生に憧れの気持ちを持ったようです。



年長「夜の幼稚園」

恒例の佐々木隊長による夜の園庭散策。夜にしか見られない様々な生き物を観察できました！2回に分けて開催され、今晚は2回目の開催となります。



年長 稲刈り～脱穀

実りの秋、年長が大切に育ててきた稲が黄金色に輝き、頭を垂れ、稲刈りの時期を迎えました。初めは先生と一緒に慎重に刈り取ると、次からは自分一人で鎌を持って刈りました。収穫した稲は、竹で作った「馬」にかけ、干した後、素手や割り箸、千歯扱きや足踏み脱穀機を使って脱穀しました（脱穀は「秋祭り」に皆さんも体験できます！）。現在は「もみすり・精米」を楽しんでいます。そしていよいよ**12日は収穫祭「おにぎりパーティー」**。あと少しでゴールですね！



鎌で稲を刈り、



縄で稲を縛り、



竹で組んだ“馬”に干す「稲架(はさ)掛け」



“千歯こき”で脱穀、



“唐箕”でくずを取り除き、“すり鉢とボールで粳(もみ)すり”





アラカルトさんの演奏を 園児のみんなで楽しみました！



アラカルト (山本愛香さん・鈴木庸祐さん)



奏でる楽器は、たった2人で20種類を超える!! (ピアノ、ドラム、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、ウクレレ、アコーディオン、ジャンベ 他) 演奏する楽曲は クラシック、ジャズ、ラテン、ポップス、童謡、唱歌などジャンルにとらわれず多種多様な楽器の組み合わせで アラカルトに演奏していく。フジテレビkids企画にてガチャピン&ムックと共演

【山本愛香】

桐朋学園大学 (ピアノ専攻) 卒業。打楽器、笛、歌も操り、司会者、作曲家、指導者の顔も持つ型破りなピアニスト。司会者としてBeポンキッキーズに出演。作曲家としてNHKラジオや東宝芸能に楽曲提供。これまで10万人以上にボディパーカッションを指導。東京フィルハーモニー交響楽団をはじめ数々のオーケストラ団体の公演にて、ソリスト兼司会者として出演。

【鈴木庸祐】

幼少の頃よりピアノとドラムを始め、数々の賞を受賞。身に付けた絶対音感とリズム感で様々な楽器の演奏技術を習得。現在は各楽器の演奏家、作曲家、指導者として活躍中。NHK紅白歌合戦、TBS音楽の日等のTVショーに出演。"ピカチュウ大量発生中"に楽曲提供、音楽監督。TDS15周年記念コンサートの全国ツアーに出演。全ての作編曲のCD『LIFE』が好評発売中。